

第5節 課題の抽出と解決の方向性

第4期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に係るアンケート調査結果などから、主な課題を抽出し解決の方向性について示します。

1 居宅サービス利用者調査

課 題	解決の方向性
「要介護状態になったきっかけ」の問いでは、「骨折や関節の病気」、「脳卒中」、「認知症」が主な要因である。	要介護状態になったきっかけを予防するための介護予防が必要である。
「介護保険料の負担感」の問いでは、介護保険料に対する負担感が強い。	介護保険制度の趣旨とサービス利用量と介護保険料のバランスについて、十分に周知する必要がある。
「サービス利用量と保険料」の問いでは、サービスの種類や量は今のままでよいので、保険料をなるべく上げないでほしいとする回答が7割以上ある。	
「介護を行う上での困りごと」の問いでは、「精神的なストレス」とする回答が半数以上ある。	身近な相談窓口についてさらに周知する必要がある。

2 高齢者調査

「成年後見制度」について「まったく知らない」とする回答が半数近くある。	周知方法について検討する必要がある。
「消費者被害」について、「何らかの消費者被害の経験がある」人が4人に1人程度いる。	引き続き啓発活動を行う必要がある。
身近な地域での交流（サロン）の利用意向」の問いでは、「利用したい」、「将来は利用したい」とする回答が合わせて8割近くある。	身近な交流の場（サロン）の設置促進について検討する必要がある。
「認知症」について、「わからない」、「少し理解している」との回答が合わせて半数近くある。	認知症についての周知や予防が必要である。
「介護保険料の負担感」の問いでは、介護保険料に対する負担感が強い。	介護保険制度の趣旨とサービス利用量と介護保険料のバランスについて、十分に周知する必要がある。
「サービス利用量と保険料」の問いでは、サービスの種類や量は今のままでよいので、保険料をな	

るべく上げないでほしいとする回答が7割以上ある。	
「介護予防」について、「運動器の機能向上教室」への参加希望者が一番多く3割近くいる。	一般の高齢者を対象にした運動教室の開催を検討する必要がある。

3 介護支援専門員調査

行政への要望について、「最新、最適な情報の提供」を望む声が多い。	最新で最適な情報の提供が必要である。
----------------------------------	--------------------

4 その他

介護保険事業者において、人員を確保することが難しくなっている。	介護保険事業者の人員の確保に資するため、情報提供を行う必要がある。
---------------------------------	-----------------------------------

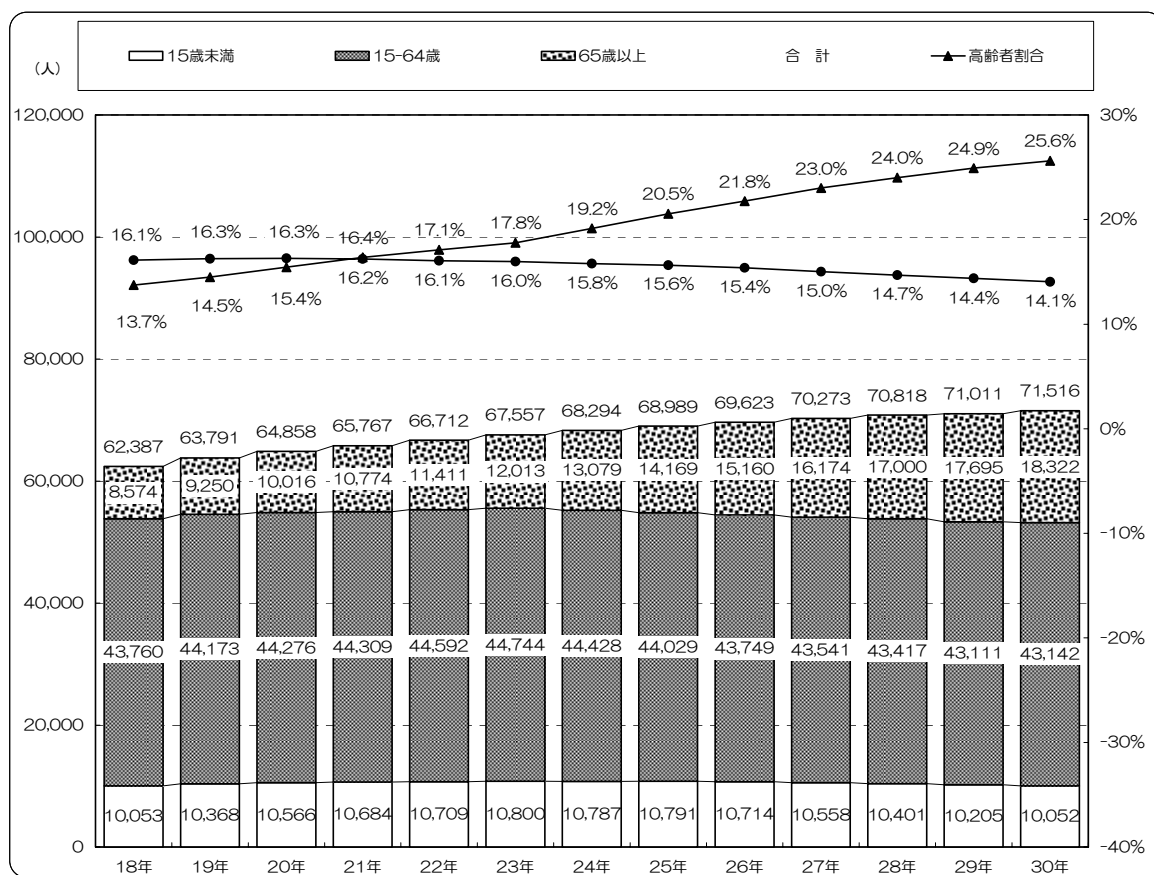
第6節 将来人口及び要介護認定者数の推計

1 将来人口の推計

平成18年から平成20年の各年10月の人口を基に、コーホート変化率法を用いて平成30年までの人口推計を行いました。今後、高齢者人口は毎年増加し、平成30年までの10年間で、平成20年の約1.8倍に増加し、平成30年には約4人に1人が高齢者であると推計しています。

実績および推計値は各年10月1日

	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
15歳未満	10,053	10,368	10,566	10,684	10,709	10,800	10,787	10,791	10,714	10,558	10,401	10,205	10,052
15-64歳	43,760	44,173	44,276	44,309	44,592	44,744	44,428	44,029	43,749	43,541	43,417	43,111	43,142
65歳以上	8,574	9,250	10,016	10,774	11,411	12,013	13,079	14,169	15,160	16,174	17,000	17,695	18,322
年少人口割合	16.1%	16.3%	16.3%	16.2%	16.1%	16.0%	15.8%	15.6%	15.4%	15.0%	14.7%	14.4%	14.1%
高齢者割合	13.7%	14.5%	15.4%	16.4%	17.1%	17.8%	19.2%	20.5%	21.8%	23.0%	24.0%	24.9%	25.6%
合計	62,387	63,791	64,858	65,767	66,712	67,557	68,294	68,989	69,623	70,273	70,818	71,011	71,516



2 日常生活圏域の人口状況

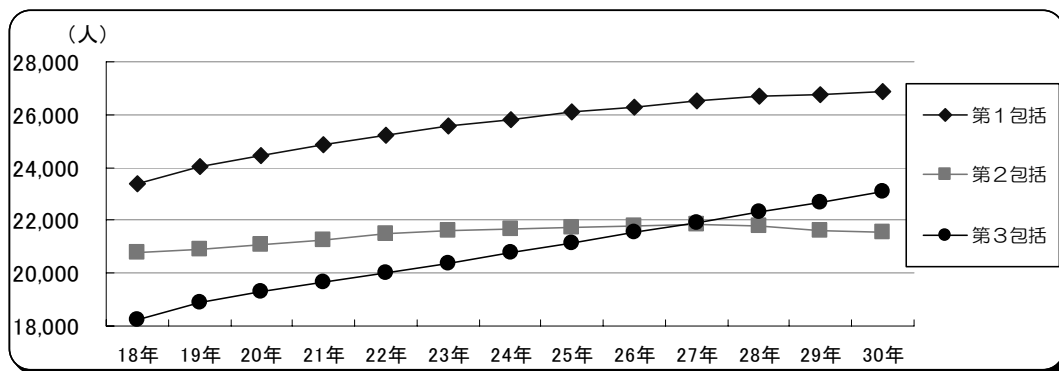
日常生活圏域とは、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続するためのサービスを整備する基準として、市を3つの区域に分けたものです。

吉川市の日常生活圏域は、高齢者の生活の継続性等から総合的に判断し、以前あった在宅介護支援センターの圏域をもとに第1地域包括支援センター(社会福祉協議会)、第2地域包括支援センター(吉川平成園)、第3地域包括支援センター(吉川中央総合病院)としました。

(1) 日常生活圏域ごとの人口状況・推移

単位：人

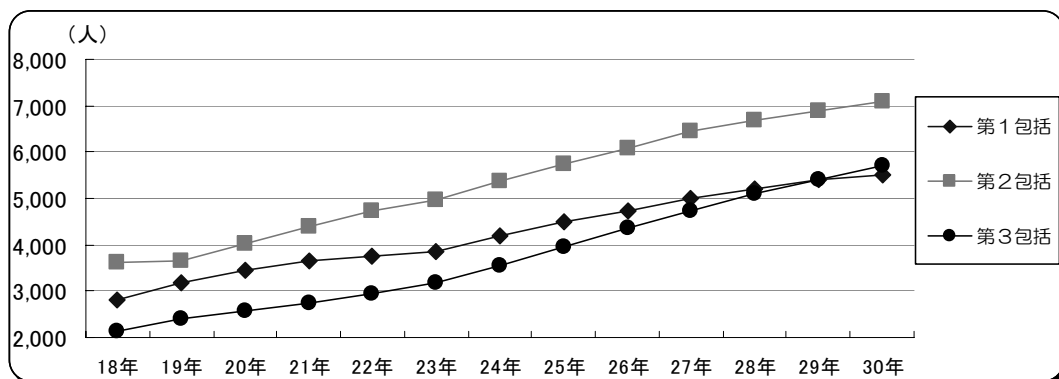
	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
第1包括	23,413	24,008	24,459	24,850	25,216	25,564	25,818	26,078	26,283	26,523	26,709	26,730	26,854
第2包括	20,765	20,905	21,092	21,279	21,480	21,601	21,689	21,750	21,788	21,872	21,805	21,627	21,572
第3包括	18,209	18,878	19,307	19,638	20,016	20,392	20,787	21,161	21,552	21,878	22,304	22,654	23,090
合計	62,387	63,791	64,858	65,767	66,712	67,557	68,294	68,989	69,623	70,273	70,818	71,011	71,516



(2) 65歳以上の人口状況・推移 (日常生活圏域ごと)

単位：人

	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
第1包括	2,805	3,188	3,433	3,642	3,756	3,870	4,180	4,486	4,727	5,008	5,213	5,412	5,521
第2包括	3,621	3,659	4,018	4,400	4,728	4,956	5,362	5,736	6,075	6,443	6,679	6,879	7,092
第3包括	2,148	2,403	2,565	2,732	2,927	3,187	3,537	3,947	4,358	4,723	5,108	5,404	5,709
合計	8,574	9,250	10,016	10,774	11,411	12,013	13,079	14,169	15,160	16,174	17,000	17,695	18,322

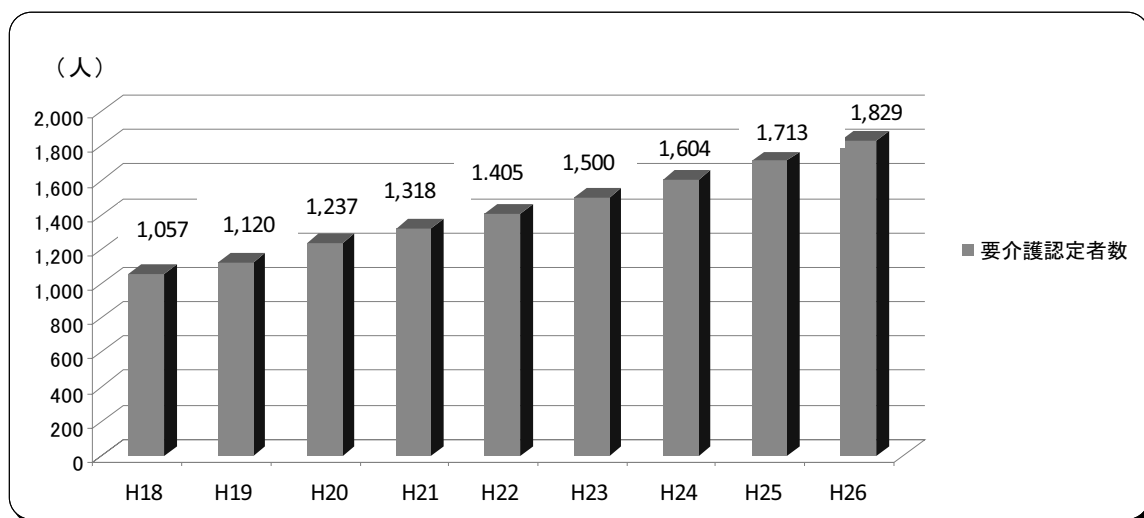


3 要介護認定者数の推計

要介護認定者数は、平成20年度の1,237人に対し、平成26年度では1,829人と6年間で1.4倍以上に増える見込みです。

単位：人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
H18.10.1	137	—	294	204	201	133	88	1,057
H19.10.1	140	83	219	221	232	136	89	1,120
H20.10.1	125	137	206	261	263	149	96	1,237
H21.10.1	125	168	188	282	287	164	104	1,318
H22.10.1	124	203	167	305	314	179	113	1,405
H23.10.1	124	242	142	331	343	196	122	1,500
H24.10.1	127	259	124	366	389	213	126	1,604
H25.10.1	129	265	138	394	430	226	131	1,713
H26.10.1	130	282	138	427	478	239	135	1,829



4 特定高齢者数の推計

単位：人

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
高齢者数	8,574	9,250	10,016	10,774	11,411	12,013	13,079	14,169	15,160
特定高齢者	1	115	500	538	570	600	653	708	758

